


MORIOKA
 ROTARY CLUB WEEKLY

第17回例会(11月9日)
 平成30年11月16日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10	会 長 坂本広行
川徳デパート内	幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)	会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分～	クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/	FAX 019 (653) 5622

 RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
 盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行


ゲスト卓話

新渡戸稲造の志

 一般財団法人新渡戸基金
 理事長

藤井 茂 様

●スピーカー紹介●

 昭和24年(1949)6月生まれで秋田県大館市出身
 盛岡タイムス社・社会学芸部長、編集委員、校閲部長
 財団法人新渡戸基金企画部長を経て、現在、理事長

世界的な国際人と言われる新渡戸稲造だが、彼の志望は最初、国際人になることではなく政治家だった。それが農学者になり、教育者になり、国際人になっていったのである。

最初の政治家というのは、叔父で養父の太田時敏(戊辰戦争を戦って敗れた経験をもつ)から、「偉くなって、薩長が牛耳っている新政府を倒してくれ」と毎日のように言われているうちにそういう考えになっていったのであって、周りの若者たちも皆その方面に向かっているので、自分もという程度のものであった。時代の流れとのか、当時の青年たちの共通の思いとのか、そういう流れに稲造も乗ったというぐらいのものであったようだ。

しかし、あるとき西村貞という東京英語学校の先生の「日本人に足りないのは科学的な知識で、これが足りないうちは欧米になど追いついてはいけない。政治、政治とって、そちらにばかり進むのはどうかと思う」という講話を聞いて、稲造は寄宿舎に帰ってから考えさせられた。その日の夜、眠られず寝返りを打っていると、同室の者もどうもそうらしい。聞いてみると、やっぱり今日の西村先生の話聞いて、今までの志望を変えようと思っているという。

そんな思いでいたところへ、明治天皇が東北にご巡幸し、青森の三本木村(現十和田市)で稲造の祖父傳(つとう)の家を行在所(あんざいしょ)にしたという記事が飛び込んできた。東京で勉強していた稲造は、自分の祖父の家に明治天皇がお

泊まりになったことで非常に誇らしい気持ちにさせられた。よく読むと、明治天皇から「子子孫孫、これからも農事に励めよ」とのお言葉を賜ったとも書かれている。自分はその孫であることに感じた稲造は大いに感激し、「ようし、農業でこの国に貢献しよう。それが明治天皇のお言葉に沿うことだ」と思い、その瞬間から農学を学ぶことに決めたのである。

農業が好きとか嫌いとかいうのではなく、明治天皇からお言葉を賜ったことが稲造には重要だった。つまり、大いに感激しての志望だったのである。

その感激は続いて、結果的に稲造は、東京英語学校から北の大地にできた札幌農学校(現北海道大学)の二期生となり、農学全般を学ぶことになる。

しかし、札幌農学校で農学を学んだあと開拓使に奉職したものの、やはり農学を心から好きになれないまま東京大学に入り直し、そこからアメリカのジョンズ・ホプキンス大学、そしてドイツの大学へと学んでいく。こうして二つの国で学んでいるうちに稲造は、一種のカルチャーショックを受けたりしく、学問ばかりではなく世の中を広く見渡すことになる。このことが、大なり小なり後の稲造の考え方を世界的な視野にしていく遠因になったようだ。欧米の国々を見て、日本との比較が知らず知らずのうちに身につけていったのである。

帰国してからは、最初こそ札幌農学校や台湾総督府、京都帝国大学、東京帝国大学などで農政経

济学や植民地学を講じていたものの、第一高等学校（現東京大学教養学部）校長から東京女子大学学長へと、しだいに教育畑を進んでいくことになる。しかし、後藤新平に誘われて第一次世界大戦後の欧米視察中、望まれて国際連盟事務次長に就き、世界の人々、それも首相や外務大臣、ノーベル賞クラスの学者たちなどを相手に活躍する舞台を与えられていく。既に1900年（明治33）1月に英文『武士道』を著していた新渡戸だったから、世界の文化人たちと伍して、いろいろ知的な話題を交換することができた。そのことがまた、新渡戸の名を世界的に高めていったようだ。新渡戸はこの国際連盟で、世界の紳士にも負けないような紳士の振る舞いをしたので、日本にも西洋に決して引けを取らない紳士・新渡戸稲造がいると認められるまでになっていった。

そういう新渡戸だったから、帰国したら環太平洋諸国間の平和のために尽くす太平洋問題調査会理事長という地位を与えられ、その仕事に邁進していく。それは環太平洋の国々の間に戦争が起こらないようにする仕事で、具体的には2年に1回の割合で会議を開き、お互いの国々の動向を忌憚なく話し合って情報を共有しようというものだった。しかし、その4回目のカナダでの会議で倒れ、ビクトリア市で客死するのである。

このように見てくると、国際人と言われた新渡戸が、決して最初からそれを目指したわけではなく、与えられた仕事を一生懸命にこなしているうちに自然に回ってきたポストであり、それらをしっかりとやり終えた生涯であったことが改めて分かるのである。

例 会 報 告

第17回例会
平成30年11月9日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング（我らの生業）
- ・四つのテスト斉唱
- ・ゲスト 藤井 茂様
（一般財団法人新渡戸基金 理事長）
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・皆出席バッチ 熊谷祐三君（33年）
- ・入会祝 熊谷祐三君

- ・誕生祝 勝部民男君・栗田 均君
- ・結婚祝 斎藤和好君
- ・幹事報告 勝 雅行副幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆田中堯史君…新渡戸稲造さんのお話を短い時間で、とても解り易くいただきました。ありがとうございました。
- ◆中村芳樹君…11/7(水)東京丸の内のJPタワー・KITTEにおいて「東北の挑戦・魅力祭り2018」 presented

by 東京海上日動火災保険株式会社を開催いたしました。^{たもつ}保副知事にご出席・ご挨拶いただき、岩手の物産をご紹介します。また、来年10月に予定されている「いわて盛岡シティマラソン」を盛岡市役所の方にアピールいただきました。大変盛況でした。ニコニコします。

- メークアップ
地区＝佐藤（仁）君。
水沢東R.C.＝長澤君。
クラブ委員会＝畠山・工藤・中村・岡村・菅原・海野・眞下君

出席報告

会員数/77名

出席数/49名

出席率/67.12%

前々回/80.00%



プログラムのお知らせ

- ・11月16日(金) 会員卓話 植崎憲二会員「取材昔話Ⅱ」
23日(金) 祝日休会
30日(金) ゲスト卓話 後藤博一様（盛岡保護観察所所長）
- ・12月7日(金) 新入会員卓話 中村芳樹会員
14日(金) 年次総会・ゲスト卓話 下山寛会友
21日(金) 年忘れ家族会

●本号編集担当/諏訪 泰幸